



愛鳥校

# 財部南の風

曾於市立財部南小学校

やさしく かしこく たくましく  
〈共学〉 〈共感〉 〈共生〉

令和7年2月28日 No.10



## 『もうすぐ春です』

校長 永井孝典

年間を通して一番寒いと言われる2月も終わろうとしています。旧正月の2月1日頃から、朝のあいさつ運動をしていると、正門付近では小鳥のさえずりが響き渡るようになってきました。もうすぐ春がやってくる気配が感じられます。

ところで、『雪に耐えて、梅花麗し』この言葉を知っていますか。これは、鹿児島県の有名な人物である、「せごどん」こと西郷隆盛の言葉だと言われています。「雪に耐えて」とは、寒い冬や雪に耐えるということですが、これは、人生の辛いことや困難、歯を食いしばるような努力や忍耐のことを表しています。次に「梅花麗し」とは、梅の花は香りも良く、きれいで整った美しさであるという意味です。つまり、厳しい冬の寒さに耐えるからこそ、春に梅の花はうるわしく咲くのだという意味です。私たちの、人生において考えると、辛いことや大変なことがあっても、それに耐えてがんばるからこそ、結果がうれしいものとして返ってくるということです。勉強にしても、習い事の稽古や練習にしても、辛くない取り組みが、自分を成長させることは決してありません。辛くても、頑張る楽しみを見つけ出し、一生懸命努力を続けるからこそ成長があるのでし、辛い練習も歯を食いしばって耐えて乗り越えるからこそ、勝利や喜びにつながるのです。辛い・苦しいと思うのは、今までの自分を、超えようとがんばっているからであり、まさに成長している瞬間に立ち会っているのです。辛くも苦しくもない者は、立ち止まっていたり、現実から目を背け、逃げていたりするからです。

南小の皆さんも、『雪に耐えて梅花麗し』この言葉を忘れないようし、これからの時期に1年間の成長や自分の努力を振り返り、学習のまとめを行い、春に向けて準備を始めていきましょう。

## 『次につなげる』

これまでの頑張りを次の学年や中学校につなげるために、残りの一月を悔いなく過ごしましょう。そのためには次の3つの点に気を付けてみましょう。

- 卒業・修了式からの春休みは入学・進級をイメージしよう。  
(今日は何をするかカレンダーに書き込みイメージアップ)
- 生活リズムは変えないように注意しよう。  
(春休みも決まった時間に起床し生活リズムアップ)
- 進学や進級に向けて早めの準備をしよう。  
(制服・文具・提出物早めの用意でやる気アップ)

〈楽しい学校づくりアンケートより〉

子供たちがいきいきと学校生活を送ることができるよう、毎月アンケートを実施し、子供たちの困り感を早期に把握し、解決へ向けてアプローチができるようにしています。2月の同アンケート結果によるいじめの認知件数は0件でした。学校では普段から、子供たち一人一人に寄り添い、いじめの早期発見、解決に努めていますが、把握しきれないケースもあると考えられます。ご家庭でのお子様の様子で気になる点等ございましたら、学校までお知らせください。

### 心の葛藤について学びました。 「心の教育の日」の実施(1/17)

道徳の授業の様子を保護者の皆様にご参観いただきました。資料をもとに登場人物の気持ちにより添いながら、正しく行動するためにはどうすればよいのかをみんなで意見を出し合いながら考えました。実生活の中で自分の心の弱さに負けそうなときに、正しい行動ができるというですね。



### 夢に向かってに取り組む姿に感動。 夢育み授業(1/24)

夢育み授業の一環として、曾於高等学校畜産食農課の見学に行きました。高校3年生のお兄さんお姉さんに農場を案内してもらいながら、牛の世話に関することを中心に説明してもらいました。年齢の近いお兄さんお姉さんの作業に取り組む姿勢や将来に向かっての意気込みなどを肌で感じ、子供たち自身も、刺激を受けたようです。



### 自分の中にいる鬼をやっつけろ。 節分集会(2/3)

節分の日(2月2日)にちなんで、学校でも節分集会を行いました。子供たちは「意地悪鬼」や「朝寝坊鬼」など、自分の中にいる鬼を発表したあと、自分の中にいる鬼をやっつける気持ちで、豆に見立てた新聞紙の玉をカ一杯、鬼の絵に投げつけていました。



### 正しい理解と確かな人権感覚を。 人権教室(12/6)

家庭教育学級の一環として「ハンセン病」について学びました。差別や偏見に苦しんだハンセン病患者の実態を学ぶことを通じて、正しく知ることの大切さを改めて感じました。部落差別やLGBTQなど、現在も様々な差別が実在しています。正しい人権感覚を身につけ、みんながウェルビーイング(well-being)を感じられる社会にしていきたいものです。まずは身近な生活に、今一度「人権」のエッセンスを加えてみましょう。



### バランスのよい食事与健康な体を。 健康タイム(1/27)

ライフ委員会の子供たちが紙芝居「3びきの子ブタ」を使って、「バランスのよい食事の大切さ」をみんなにアピールしました。健康な体は元気に学校生活を送るために欠かせません。好き嫌いをなく、いろいろな食材から十分な栄養をバランスよく取り入れ、自分の体を作っていくたいですね。



### 福祉のために役立てて。 ペットボトルキャップ寄贈(2/18)

ボランティア活動の一環として集めているペットボトルキャップをライフ委員会の代表児童より市社会福祉協議会の方へ寄贈しました。社会福祉協議会を通じて、リサイクルされたり、福祉活動に役立てられたりするそうです。





### 3月の主な行事



- 3日(月) 全校朝会 いじめアンケート
- 5日(水) 掃除あり(教室)校時 卒業式練習②
- 6日(木) さんぺい号 授業参観・学級PTA  
学校運営協議会③ 家庭教育学級(閉講式)
- 7日(金) 定時退校日 委員会活動L①
- 10日(月) 卒業式練習③
- 12日(水) 卒業式練習④ ※財部中学校卒業式
- 13日(木) お話会③(祝子の会)
- 14日(金) 定時退校日 クラブ活動⑨
- 17日(月) 卒業式予行
- 18日(火) 児童代表保健委員会 卒業式練習④
- 20日(木) (祝)春分の日

- 21日(金) 定時退校日 さんぺい号 卒業式練習⑤  
卒業式準備
- 24日(月) 第78回卒業式  
※ 給食はありません。児童の下校は12時頃です。
- 25日(火) 修了式 離任式  
※ 給食はありません児童の下校は12時頃です。
- 26日(水) 春季休業(~4/6(日))  
※PTA送別会(予定)



ブログでも学校の様子を公開していきます。是非ご覧ください。



### ○第78回卒業式のご案内

本年度の卒業式を下記の日程で計画しています。卒業を迎える2名の児童の門出を地域の皆様にもお祝いしていただきたいと思っております。参列していただける方は、普段着で、当日、体育館まで、お越しください。たくさんの方々のお越しをお待ちしております。なお、ご不明な点等ございましたら、財部南小学校(教頭)までご連絡ください。

- 日時：令和7年3月24日(月) 開式→10:00 閉式→11:05(予定)
- 場所：財部南小学校 体育館
- 受付：体育館入り口 9:40~9:50
- 服装：普段着



- その他
- ・ お車で来校される方は公民館駐車場または体育館西側駐車場をご利用ください。
- ・ ご不明な点等ございましたら、財部南小学校(教頭)(Tel: 0986-75-1110)までご連絡ください。

### 新聞掲載情報

12/16 付け南日本新聞  
「ひろば『若い目』」

2/6 付け南日本新聞

#### 2年ぶりの運動会友達優しく

財部南小6年 藤野 舵心  
今日は小学校最後で、2年ぶりに参加した運動会でした。学校になかなか行けず、練習はほぼしていませんでした。けれども、みんながグラウンドの立ち位置や、踊りのソールの流れを教えてくださいました。一輪車競技の時には、手を取り、「がんばれ、もう少し」と応援もしてくれました。どんな時でも優しくしてくる南小の友達と、運動会に参加できて本当によかったです。家に帰った後も、勝ち負けや競技のことより、うまくできないぼくのために友達が優しくしてくれたことを、ずっと思っていました。特認校制度を利用して学校を変えて、友達ができてよかったです。一生の思い出になりました。(曾於市)



### 愛鳥教育役立てて 島野さんの18羽寄贈

愛鳥教育に力を入れている曾於市の財部南小学校に、フクロウなど木彫りの野鳥18羽が新たに届いた。贈り主は霧島市隼人の野鳥作家、島野尚利さん(78)。3年前にも作品を寄贈しており、同校は「小鳥の部屋」と名付けた展示室に飾って学びに役立てる。

島野さんは2022年、同校が野鳥観察やボクスター作製などに熱心に取り組んでいることを知った。教材として活用してもらえればと、シジュウカラやメジロなど木彫りの野鳥65羽を寄贈。最近になり学校が行ったアンケートで児童がフクロウに興味を示していることを知り、再び届けることを思い立ったという。

1月31日に同校であった寄贈式で、島野さんはフクロウの生態について説明し、児童代表に作品を手渡した。学校は「大切な宝物としてさらに活動を充実させたい」と島野さんに感謝状を贈った。

材料は北米産のヒバ。加工し寄せ木づくりで仕上げた。どれも精巧な作品ばかりで全児童17人は感激した様子。4年の田中湊さんは「僕はメジロが好きだが、他の木彫りの野鳥も見てもっと知りたいと思った。うれしい」とお礼の言葉を述べた。

島野さんは「野鳥の部屋」に展示して大事にもらっている。また頑張った作品を作りたい」と話した。(中島裕郎)